

「アサヒキャンプを利用して4年 積極的に話しかけるようになりました」

A・Y（高校1年男子母。2026年2月記す）

息子がアサヒキャンプを利用し始めたのは中1からでした。友だちと関わるのが好きで遊ぶことを楽しむ反面、普段の会話はなんとなくできるものの、自分に自信がなく、いろいろと聞かれると答えられない、自分から人には何とっていいのかわからず聞くことができない子でした。勉強面のこともありましたが、人との関わりの中で言葉や語彙が増えたり、人に認めてもらえて自己肯定感が持てるようになってくれたら、との親の思いからでした。

初めのころは「マイスペース」を利用し、遊ぶことは大好き！なので毎回行くことを楽しみにしている息子。そして、大学生のお兄さんたちと一緒に遊び、話をする中で、話を聞いてもらえる、息子の興味のあることで話ができるうれしさがあったように思います。

1年間「マイスペース」を利用、中2では「楽習会」を利用しました。最後の発表の時間、みんなの前に出ることに緊張と発表することの緊張から、初めての「楽習会」はわからずやったものの、次からは前に出ず、椅子に座ったまま、発表で言うこともお兄さんに言ってもらうことがしばらく続きました。やっぱり人前で言葉にして言うことへのハードルの高さ、自信がないのかな、と時々励ましてなんとかできるように、と親が思っていたけど、しばらくこの姿が続きました。中3でも「楽習会」を利用、変わらずの姿でした。

この間、アサヒキャンプのキャンプ行事にもほぼ出席していた息子。中3の頃には知っているお兄さんたちが多くなっていて、グループを超えていろいろなお兄さんに話をしにいていたようです。その中3夏のキャンプ。スタンツ発表で、今までは一言話すぐらいだったのが、どういうことになったのか!?お兄さんとコンビを組んでダンスを発表していました！あまりの今までの姿の違いに親がビックリ！でしたが、すごく私はうれしくて涙が出てきました。息子の思いを受け止めてもらえているからこそその姿なんだろうな、と。

（このスタンツの発表は、後日報告会で動画を見せてもらってわかったことでした。）

それまで中3夏まで息子なりに成長していたけれど、横ばい状態に近かったのです。いつか息子なりに花開く時がくるだろう、とは思っていたけれど実際はなかなか来ず、モヤモヤしていたのが正直なところでした。それが、この夏キャンプをきっかけに変わりはじめた気がします。その後もスタンツ発表ではいろいろなことをお兄さんたちと一緒にやっていました。

高1になった最近の息子の様子として、語彙が増えてきているのではないかとということと、家の外でよくしゃべっている姿を教える機会が増えてきました。

学校の隣のクラスの保護者の方から、下校時に息子からお友だちに声をかけて一緒に帰ったとのこと。その日はお友だちに予定があり、学校からすぐのところまで別れることになったので数百メートルだったそうですが、この話を聞いて私は驚きました。うちの子がそんな風に声をかけることができるんだ！という発見とともに、本当なのかと疑うぐらいです。

また、家の近くのスーパーで買い物中に、息子が小・中学校の同級生に会ったことを教えてくれたが、「〇〇ちゃん、〇〇高校に行ってるんだって」と報告。私も知っている子ですが、どこの学校に行っているかは知らず「どうして知っているの？」と聞くと「今教えてくれた」と。「なんて聞いたの？」と尋ねると「どこの学校に行ってるの？って聞いた」と。これもまたビックリで、そんな風に息子から聞くなんて思ってもいなかったので信じられない思いでした。そして、近所のコンビニで別の小・中学校の同級生とばったり会った時、私と息子は会計中でもう店を出るところ、その子はお店に入ってきたタイミングだったので挨拶だけして終わったのですが、その後息子が「あっ！〇〇ちゃんにどこの学校か聞くの忘れた！」と言っていて、これもまたビックリ。知っている子、ということもあるとは思いますが、今まであまり自分から話しかける姿を見たことがなかったので(特に2人とも女子ということもあり)、聞いてみよう、と思っていることに息子の中で今までとは違う姿を感じました。

月に1回通っているカウンセリングでも今までに使っていなかったような語彙が聞かれるようになった、との報告を聞いたり、少し具体的に伝えてくれるようになってきていること、最後に話したことを母に伝えてもいいか、と確認をして前回までは「いいよ」と言っていたそうですが、今回初めて「〇〇のことはママに言わないで」と息子が言ったようで、「話の中の取捨選択みたいのものが出てきましたね、思春期もありますしね。」との報告。そんなことを言うようになったことに本当にビックリ！です。

普段利用している放課後等デイサービスでは、カブトムシの幼虫のお世話を以前からしていたことは聞いていましたが、最近観察日記をつけ始めたとのことで、2~3回分見せてもらうと、デイの方のフォローももちろんあってだとは思いますが、あまり見ない語彙が書いてあってビックリ。デイの方の言ったことを聞いて書いたのかと思ったが、そうでもないとのこと。

いつも日記や感想を書くと、息子の中での2~3文の決まった文章の定型文があるけれど、それとはまた違っていました。やはり語彙が少しずつ増えてきているのかな、と感じます。

アサヒキャンプを4年間継続利用して思うことは、息子に新しい居場所ができたこと、安心できる楽しい場所ができたこと、大学生の方たちに息子の思いを十分に受け止めてもらえて自分が出せる、出していいんだと思えたこと、そして認めてもらえたことが1番大きいのではないかと、思います。時間はかかるかもしれないけど、でも継続するからこそ少しずつ少しずつ積み重ねているものが確実にあるのだ、ということを感じました。いろいろな方たちの関わり、受け止めて認めてもらえたからこそその姿です。

また私自身、保護者の方たちと繋がれたことに感謝でいっぱいです。答えがない子育て、一人ひとり違う子どもたちだけ、保護者の方たちの思いは似通っていて、話をしたり聞く中でアドバイスがもらえたりするので、私自身の気持ちもスッキリさせてもらえています。

最後にアサヒキャンプに出会えて、利用できて、親子共々感謝です。